

地域で活躍する子どもたち

～ 子ども参画型社会創造支援事業 ～

< 地域のおまつり編・8～11月版 >

発行日：令和元年 12月 19日（木）

発行者：仙台市教育局

生涯学習支援センター

○ 今回は、8～11月に行われた市民センターまつり等での子どもたちの様子をお伝えします。

* キッズもりあげ隊【宮城野区】<宮城野区中央市民センター（地区館）>

○ 8/18（日）、原町小学校校庭で開催された原町まつりに“出陣”（出店）しました。キッズ手作りの縁日ゲーム（「的あてゲーム」「水鉄砲合戦」）は、スタートと同時に大賑わいとなりました。

○ 11/9（土）、宮城野区中央市民センターまつり（Mフェス）に、今年度もブースを出しました。（全3つ。「スライム作り」「ミッションインボスぶる?」「タイムチャレンジ」）メンバーは、学生アシスタントのサポートを受けながら、手際よく準備を進めました。遊びに来た子どもたち、キッズのメンバー、みんなの笑顔があふれました。



スライム作り



「水鉄砲合戦」
頭に付けた「ボイ」を狙います



◇「子どもたちの・子どもたちによる・子どもたちのための遊び」は、いずれのおまつりでも見事に子どもの心をつかんでいました。子どもたちは、まさに「アイディアの宝庫」です。

* カッパダ川で地域交流【青葉区】<広瀬市民センター>

○ 11/2（土）、広瀬市民センターまつりにおいて、ダンスを披露しました。



レディー・ガガの曲に合わせて…
「Born This Way」
観客からの手拍子もあり、会場が盛り上がりました。

オープニング、あの耳になじんだ「カッパダ川ダンス」の曲が流れると思いきや、レディー・ガガの「Born This Way」（CM等で耳にしたことがあるはず）でスタート！リズムカルでダンサブルなステージとなりました。

次は、いよいよ「カッパダ川ダンス」です。観客の中には、「ほら、あのダンスだよ。」と言って、一緒に来ていた御友人に紹介される方も…。地域における子どもたちの認知度が、とても高いことが分かりました。



「カッパダ川ダンス」
観客も一緒に踊りました
（新メンバーも一緒にダンス!）

広瀬の地域を誇りに思う子どもたちの思いが、ダンスを通して地域に広がっていることを感じるひとときでした。

* にしたがキッズ情報局 2019【太白区】<西多賀市民センター>

○ 11/3（日）、西多賀市民センターまつりにおいて、ステージ発表の司会進行を担当しました。観客満員の会場でしたが、物怖じすることなく、情報局の活動で身に付けたスキルを遺憾なく発揮しました。



宮田敬子さん（フリーアナウンサー）
支援のもと、スムーズな進行を行いました。どのキッズも、発声バッチリ!

鈴木館長は、オリエンテーション（第1回目の活動）の際に、「学校以外で貴重な体験をしましょう。」と、子どもたちにお話をされていました。通常の活動（取材活動など）も学校ではなかなかできない体験ですが、この「市民センターまつりで司会進行を務める」ということは、まずできない体験です。

地域の一員としておまつりに関わり、最後まで務めたキッズたちでした。



☆彡 トピック ☆彡

♪ 「杜の美術ファースト展」開催

< つるっこ画樹園～実れ鶴心～【宮城野区】 >

去る 12/15（日）、鶴ヶ谷市民センターにおいて「つるっこ画樹園発 杜の美術ファースト展」が開催されました。地域の方々から鶴ヶ谷の風景画や写真を募集し、鑑賞してもらうことを通して、地域の魅力を再発見しよう!という企画でした。当日は、「+αの企画」もあり大盛況でした。つるっこメンバー（中学生）のアイディア、パワーを体感したひとときでした。（詳細は次号でお伝えします）



♪ 市政だよりの表紙を飾る

< にしたがキッズ情報局 2019【太白区】 >

市政だよりの 12月号、御覧になりましたか。表紙を飾るのは、「にしたがキッズ情報局」のメンバーです。エフエムたいはく「市民センターあっとたいはく」収録の1コマでした。

撮影の様子 →



